

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回弘前市健康づくり推進審議会
開 催 年 月 日	令和2年7月31日(金)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後3時00分から午後4時10分まで
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	弘前市健康づくり推進審議会 会長 井原 一成
出 席 者	学識経験のある者：委員 井原一成 委員 木田和幸 保健・医療関係者：委員 澤田美彦 委員 中村亨 委員 前田淳彦 委員 築館寛子 公共的団体の推薦：委員 福島龍之 委員 斎藤明子 委員 八木橋喜代治 委員 成田津江 委員 村田大六 委員 三上美知子 関係行政機関職員：委員 石山明 公募委員：委員 棟方淳也 委員 永澤裕子
欠 席 者	無し
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	健康こども部長：三浦直美 健康増進課長：一戸ひとみ(司会) 健康増進課長補佐：渋谷輝之、佐藤美加、 健康増進課主幹：成田互、土岐暖子、鳴海悦子、澤居吏香子、 健康増進課主査：山下絢子、
会 議 の 議 題	・議事 (1) 会長選出 (2) 会長職務代理者指名 ・報告事項 (1) 弘前市健康づくり推進審議会の概要について (2) 審議会の今後のスケジュールについて
会 議 結 果	・議事 (1) 会長は井原一成委員が推薦され委員が了承し選出。 (2) 会長職務代理者は井原会長が澤田美彦委員を指名し承認。 ・報告事項 (1)(2)とも事務局説明し、委員から会議の内容等について

	質疑が交わされた。
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第1回弘前市健康づくり推進審議会次第 ・弘前市健康づくり推進審議会委員名簿 ・会場席図 ・令和2年度第1回健康づくり推進審議会報告事項資料
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 委員紹介</p> <p>司会から議事の前に定足数の報告：全員出席会議成立</p> <p>5 議事 (1) 会長選出 (2) 会長職務代理者指名</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1) 弘前市健康づくり推進審議会の概要について</p> <p>(2) 審議会の今後のスケジュールについて</p> <p>質疑</p> <p>7 その他</p> <p>8 閉会</p> <hr/> <p>6 報告事項</p> <p>【以下、質疑等と事務局説明の概要】</p> <p>(1) 弘前市健康づくり推進審議会の概要について</p> <p>(2) 審議会の今後のスケジュールについて</p> <p>事務局から資料に基づき以下説明した。</p> <p>健康ひろさき21（第2次）の現計画は、平成26年度から令和4年度までの期間で策定したもの。国の基本方針により、学識経験者や関係機関による専門的知識と住民目線での見識による客観的な審査審議による公平性を確保することが必要とされ、平成30年7月に、本審議会を設立。</p> <p>更に健康ひろさき21（第2次）改訂版は、本審議会の議論により中間評価を行い令和元年12月に策定したもの。</p> <p>これまで取り組んできたことに加えて、弘前市総合計画の健康分野として位置付け、1生活習慣病の発症及び重症化の予防 2こころとからだの健康づくりに重点をおくこととしている。そのことを達成するため、計画では、1働き盛りの健康アップ推進 2子どものころから身につけよう健康習慣を重点課題とし、健康ひろさき12か条及びけんこうこども3か条を定め</p>

市民に周知を図っているところ。また、審議会スケジュールについては、資料のとおり。

<質疑>

○委員からの質問と事務局説明の概要

・委員より

年に1回しか開催しない会議なのか。

→事務局（渋谷補佐）

計画の進捗状況を説明することが定期的な審議会。

必要に応じて適宜開催したい。

・委員より

健康ひろさき21の12か条及びこども3か条の発信などについて、健康増進課だけでなく他の関係課とも連携して進んでいくことを行う考えはあるか。

→事務局（一戸課長）

計画自体は健康増進課が主になって進めていくが、総合計画や実際の活動に際しては、こども家庭課、教育委員会などと連携していきたい。

・委員より

直接のアドバイスだけでの健康づくりは難しい。健康づくりのさまざまな場面での環境作りが大事だと思っている。

→事務局（一戸課長）

健康づくりの環境というのは、とても大事なことと認識している。委員からのご提言等をいただいて進めていきたい。

・委員より

平均寿命の算出については、複雑な方法で算出している。全体の年代の寿命を延ばしていかないと平均寿命は伸びない構造になっている。弘前市の年代別での死亡原因は公表されていない。40歳及び50歳での死亡原因に的を絞り対策を施すことが必要と思う。

そのためには、データの公表が必要だ。市か県か保健所にはあるはず。無かったら統計を取り提供してほしい。

更には、市は糖尿病の重症化予防を行っているが、そのデータも提供してほしい。難しいことだと思うが是非提供願いたい。

→事務局（一戸課長）

公表できるもの、出来ないものを県と相談したい。

	<p>○その他の委員からの発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・死亡のデータについては、国に申請して許可を得れば使えるはずなので相談してほしい。 ・データ提供の話は、必要と考えている。 ・会議の内容を所属団体に伝えたい。 ・健康づくりを様々な会議で発信したい。 ・委員任期中にいろんなデータが出てくると思うので、それらを見て検討したい。 ・地域に密着して健康の必要性を伝えている。 ・減塩の普及の取組を実践している。 ・市民に対して健康教室などで開催して啓もうを図っている。 ・現在の新型コロナウイルスの影響により、今後の施策の展開も考えないといけない。 ・身近な問題として健康問題を捉えるために、データの公表は大事なことだと思う。 <p>7. その他 事務局から軽微な事務連絡</p> <p>8. 閉会</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議は公開。